

夏秋ミニトマトの収量と果実品質

豆田和浩・松尾良満(佐賀県農業試験場三瀬分場)

Kazuhiro MAMEDA and Yoshimitsu MATSUO: Yield and Fruit Quality of Cherry Tomato in Summer-Early Autumn Harvesting Culture.

近年、ミニトマトの生産は急速な伸びをみせ一大成長品目となった。従って産地間競争に勝つためには、高品位の果実生産が必要となってくる。そこで、中山間地の夏季冷涼な気候を利用した、夏秋期の雨よけ栽培に着目し、2年間の栽培試験を行った。その中から収量と果実品質について報告する。

1. 材料及び方法

1989年、90年の2か年、‘サンチェリー’ ‘ミニキャロル’ ‘ペペ’の3品種を用い、2月中旬は種、4月20日雨よけハウスに定植し、自根と接ぎ木による栽培を行った。栽植距離は、株間50cm、2条植えとし、主枝1本仕立ての斜め誘引とした。施肥量はN25、P₂O₅30、K₂O23kg/10aを全量基肥で施用した。

収量は週3回、1区10株を調査し、果実品質は月2回、1区10~20果を、果実の大きさ、糖度(Brix)及び酸含量について測定した。

2. 結果及び考察

6月中旬に収穫開始期をむかえ、品種間に早晚の差はみられなかった。

収量は、年次間差がややみられるが、総収量で3,000g/株前後であり、自根に比べ接ぎ木によって増収する傾向がみられた。‘サンチェリー’は屑・奇形果が少なく、M、Sクラスを中心に玉揃いが良い。‘ミニキャロル’は、

やや大玉が多く、裂果が非常に少ない。‘ペペ’はSクラスが中心で、屑・奇形果や裂果が多く上物率は低かった。また、接ぎ木によってやや裂果の割合が多くなる傾向がみられた(第1表)。

果実品質については、外観上、何れの品種ともほぼ球形で、色合い、光沢も良好であった。果重は収穫初期(6~7月)は何れの品種とも、やや大玉であったが、その後は10g内で推移した。

糖度(Brix)は、年次間差があるものの、品種間に大差はなく何れも7~9月は7.5前後で推移したが、10月以降には7.0以下に低下した(第1図)。

また、接ぎ木によって糖度が低下するようであった。

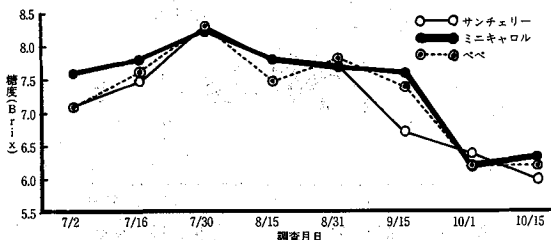
酸含量は‘サンチェリー’が全般的に高く、何れの品種とも10月中旬以降はかなり高い数値を示した(第2図)。糖酸比は上記の糖度と酸含量の関係から、やや‘ミニキャロル’が高かった。また、10月以降は、低糖度・高酸含量となり、品質的にかなり劣るものとなった。

以上の結果から、中山間地におけるミニトマトの栽培は、品種では、‘ミニキャロル’が適当で、7~9月は収量・品質とも優れているが、6月または10月以降の生産安定と品質向上技術が必要と考えられ、産地の長期安定栽培には、台木品種の選定が課題と思われる。

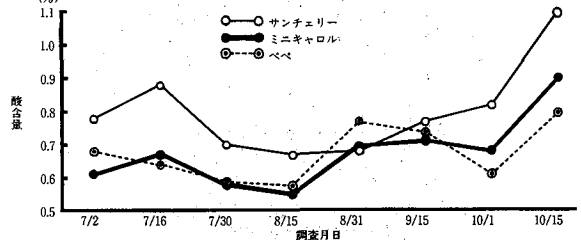
第1表 ミニトマトの品種の収量及び果実品質

年次	品 種 名	1株当たり収量		上 物 率		規格別収量 ^{a)} (個数%)						果 実 品 質 ^{b)}			
		果 数	重 量	果 数	重 量	L	M	S	屑・奇形	裂果	果重	Brix	酸含量	糖酸比	
		個	g	(%)	(%)	%	%	%	%	%	g (c.v)	% (c.v)	% (c.v)	% (c.v)	
1989	①サンチェリー	300	2,979	(84.4)	(91.1)	9.2	38.9	36.3	9.4	6.2	9.9 (21.7)	8.0 (5.9)	0.61 (12.6)	13.3	
	②サンチェリー/LS-89	302	2,790	(77.7)	(85.7)	7.6	34.4	35.7	10.4	11.9	9.4 (30.0)	7.4 (6.6)	0.67 (22.3)	11.6	
	③ミニキャロル	383	3,443	(79.9)	(90.7)	11.7	22.2	46.0	18.0	2.1	10.1 (32.6)	7.9 (4.3)	0.56 (18.5)	14.6	
	④ミニキャロル/※M2	378	3,520	(79.7)	(90.4)	11.1	29.1	39.5	16.8	3.5	10.2 (27.6)	7.6 (7.7)	0.57 (15.5)	13.7	
	⑤ペペ	396	3,275	(73.5)	(85.0)	6.9	23.5	43.1	20.1	6.4	9.7 (28.5)	8.0 (6.0)	0.61 (3.1)	12.9	
	⑥ペペ/※M2	441	3,538	(73.7)	(83.1)	5.3	21.2	47.2	14.0	12.3	9.2 (28.3)	7.6 (5.0)	0.59 (13.9)	13.1	
1990	①サンチェリー	393	3,096	(83.2)	(89.3)	6.7	32.6	44.0	9.7	7.0	9.1 (29.5)	7.2 (10.1)	0.80 (16.5)	9.3	
	②サンチェリー/LS-89	394	3,367	(83.1)	(88.3)	4.6	45.6	32.9	6.6	10.2	9.9 (25.5)	7.0 (9.7)	0.83 (14.0)	8.6	
	③ミニキャロル	382	2,903	(73.5)	(86.4)	12.4	18.4	42.7	20.1	6.5	10.0 (44.2)	7.4 (9.3)	0.67 (15.2)	11.3	
	④ミニキャロル/※M2	407	3,295	(79.6)	(90.4)	12.8	22.9	43.8	15.9	4.5	10.6 (35.3)	7.4 (7.8)	0.64 (10.1)	11.7	
	⑤ペペ	378	2,484	(57.3)	(74.9)	7.5	16.1	33.7	30.1	12.6	9.4 (42.1)	7.3 (9.7)	0.68 (11.7)	10.9	
	⑥ペペ/※M2	478	2,920	(57.5)	(73.6)	5.0	15.1	37.4	26.9	15.6	8.2 (40.4)	7.2 (8.8)	0.78 (12.4)	9.5	

注) a) M2: 台木品種KNVF-TmシグナルM2, 規格: L3.0~3.5cm M2.5~3.0cm S2.0~2.5cm(果径), b) 果実品質: 1区10~20果, 毎月2回測定



第1図 ミニトマト果実の糖度(Brix)の時期別変動(1990年)



第2図 ミニトマト果実の酸含量の時期別変動(1990年)